

## 取扱説明書

### 多機能ケーブルストリッパー ABI-1

※必ず適用範囲を守ること

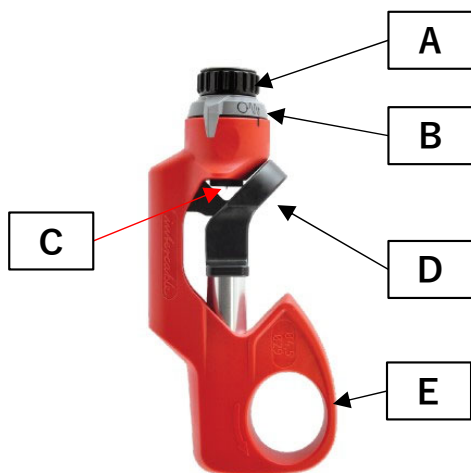
外径  $\Phi 4.5 \sim 29\text{mm}$ , 被覆厚  $0.1\text{mm} \sim 3\text{mm}$

#### 一般事項

- 施工前に本書を一読すること
- 刃の部分で怪我をしないように十分に注意すること
- 地域や国の資格や施工責任者の承認を得た作業者が行うこと

インターケーブル社認定日本販売元  
株式会社 北海道ダイエitteック  
TEL 011-667-1020  
info@h-det.com

#### 各部の説明



A	刃深さ調整ダイヤル
B	切断モード切替ダイヤル
C	切断刃（交換可能）
D	ケーブル固定用サドル
E	本体回転用ハンドル

#### ※適用ケーブルに関して

本製品は国内の600V CV単心250mm<sup>2</sup>までのシース及び絶縁体の切断、6KV100mm<sup>2</sup>までのシース切断、及び6KV150mm<sup>2</sup>外導剥ぎ取り適合を確認しております。その他被覆に関しては、事前に試し切断をして切断可否を念のために確認すること  
※絶縁体と外導に作業する場合には、円周からせん切断のみとし、縦切断は行わないこと

## 1) 剥ぎ取り作業の流れ（裏面上を参照のこと）

### 1. 切断モード確認（ロック解除）

切断方向選択レバーを円周にセットしてから作業を開始する  
Bの切断モード切替ダイヤルが直線にセットされている場合はロック状態となりDのサドルは動作しません

### 2. 切断刃の調整（裏面 1）

ストリッパーをケーブルの断面に当て、Aの刃深さ調整ダイヤルを時計回りに回転させて切断刃の突出を調整する（反時計回りで刃は引っ込む）

### 3. 位置決め・円周切断（裏面 2）

ケーブルに切断開始位置にマーキングし、切断方向選択レバーを「円周」にセットする  
Dのサドルを引き上げマーキング位置に刃を合わせ、サドルから手を離し本体を回転させ円周切断する（円周切断刃時計回り、反時計回りどちらでも良い）

### 4. らせん方向切断（裏面 3）

Bの切断モード切替ダイヤルを「らせん切断」にセットし、本体を時計回りに回転させる  
本体が終端部及び任意の場所まで回転させる、また中間はぎとりの場合には任意の位置で止め、切替ダイヤルを円周切断にセットし、3と同様に切断し、シース及び絶縁体を取る

### 5. 縦方向(直線)切断（裏面 4）

Bの切断方向選択レバーを「直線切断」にセットし、本体を縦軸方向に引っ張り、任意の位置まで引き抜く（中間剥ぎ取りの場合には、任意の位置で止める）

#### ※注意事項

- ・ 絶縁体の切断で縦方向の切断はしないこと、また刃が導体に当たらないようにすること
- ・ 絶縁体はシース切断よりも少し刃を長めに出すようにし、試し切断を行うこと
- ・ 600V以上のケーブル絶縁体は厚みが適用外なので施工しないこと
- ・ Aのダイヤルは限界を超えて回すと空転し破損の原因となります、絶対に行わないこと
- ・ 切断作業中に刃の調整やモード切替を行わない、必ず止めてから行うこと
- ・ らせん切断の回転を間違えないこと（外導は間違った場合必ず再施工すること）

#### ※参考動画へのリンク及びスマホ用QRコード（youtubeへ移動）

<https://youtu.be/rFFsWHMbcv8>



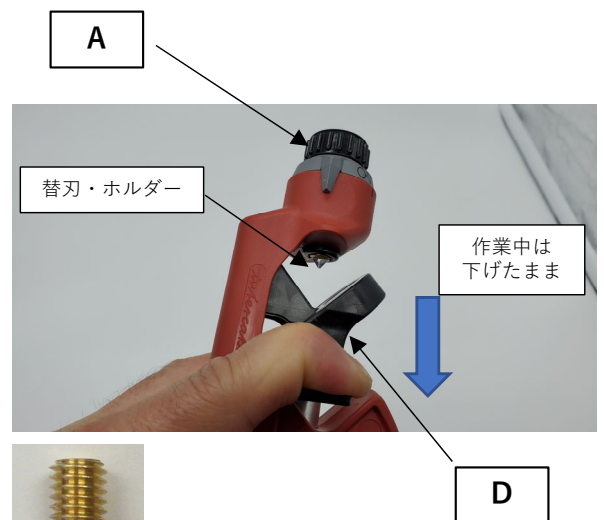
## 作業の流れのイメージ

<p><b>1.切断刃調整</b></p>  <p>刃の長さを設定</p>	<p><b>2.切断方向設定、円周切断</b></p>  <p>円周に設定</p> <p>切断開始位置に設置</p>
<p><b>3.らせん方向切断</b></p>  <p>らせんに設定</p>	<p><b>4.縦方向（直線）に切断</b></p>  <p>直線に設定</p>

## 2) 替刃の交換（替刃は別売品 (型番110059)）

1. Dケーブル固定サドルのツバを持ち、引下げた状態で保持する（困難な場合は2名で行うこと）
2. Aダイヤルを時計回りに刃が露出して動かなくなるまで回転させ、（ダイヤル回し過ぎないこと）ホルダーごと刃を本体から外し、刃を抜く
3. 替刃を同じ向きで挿入し、ホルダーを本体側に軽く押しながらAダイヤルを反時計回りに回転させ本体に隠れるまで収納する

※替刃の挿入及び取付けは本体を逆さにするとよい  
 ※替刃で怪我をしないように十分注意する  
 ※替刃交換中はDのサドルが戻らないようにする



替刃  
(型番110059)

## 3) 長くお使い頂くために

- 作業が終了したら工具を清掃する
- 刃に付着した汚れなどは除去する
- 刃が導体に当たらない作業をする
- 各ダイヤルは乱暴に回転させないこと
- 切れ味が悪くなったら刃を交換すること

## 4) 保証及び修理に関して

本製品は新品購入時の製品不良に関してのみ、新品と交換を行います。  
 使用後の保証及び損害に関しては一切の責任をもたないものとします。  
 修理に関しては、インターケーブル社工場（イタリア）で行い、輸送費や作業費用はお客様のご負担となります。また、修理不可能な場合でも輸送費ご負担は発生いたします。